川柳　二十七年八月　「雲」「飛ぶ」

水たまり　飛んだつもりが　どろんこに　西沢　秀子

あっ雲雀　ひばりの歌も　もう聞けず　西沢　秀子

何もかも　見すかされてる　雲の上　西沢　秀子

雲の上　宇宙（そら）のどこかで　油井（ゆい）さんが　山本　昭子

鉄だもの　飛行機飛ぶのは　無理がある　山本　昭子

飛ぶ記憶　最先（さっき）のコトも　解らない　山本　昭子

入道雲　ちょっと雨を　くださいな　伊藤　直人

飛び込んで　涼を求める　猛暑日だ　伊藤　直人

飛車角を　大切にして　王ひとり　伊藤　直人

我が家（や）から　暑さしのぎに　雲がくれ　掘　輝規

雲はわき　声もわき立つ　甲子園　掘　輝期

飛び入りで　カラオケに出て　声が出ず　掘　輝期